

令和2年度 第2回 大阪府都市公園指定管理者評価委員会 会議概要

1. 日 時 令和3年2月9日（火曜日）午前10時00分から午後0時まで

2. 場 所 大阪府庁別館7階 都市計画室会議室

3. 出席者

柴田委員長、大藪委員、坂口委員（Web出席）、千葉委員（Web出席）、野村委員

4. 議題

(1) 指定管理者の評価について

(2) 表彰の進め方について

5. 主な議事内容

（太字：委員 細字：事務局）

(1) 指定管理者の評価について

(2) 表彰の進め方について

(3) その他（府営公園の駐車場料金について）

（指定管理者の評価について）

- ◇ 指定管理者の評価と施設所管課が違う箇所がいくつかあるが、いずれも妥当な評価となっている。久宝寺緑地はSが多いが、コロナ禍の中、突発的なプールへの故障への対応を行うなどの取り組みの結果であり、妥当な評価と思う。
- ◇ 住之江公園では、12月に5,000人を超える大規模なイベントを行ったとのことだが、府では不要不急の外出自粛の時期だったのでは。
⇒2日で5,400人の実施であった。イベントの実施にあたってはコロナ対策についてのチェックリストを用意しており、それをクリアすることを実施の条件としている。
⇒府の方針と異なった事業を行っているのではないかと誤解を与える表現については、正確な表現に修正させて頂きたい。
- ◇ 全般的な満足度が全体的に上がっているようだが、その要因は分かるか。
⇒コロナ禍で、都心の密を避け、緑の多い府営公園を楽しんでいただいている結果だと思う。
- ◇ 枚岡公園は来園者数が大幅に伸びているが、要因は分かるか。コロナ禍で自然を求めて来ているからか、或いはこれまで実施してきたイベント等の成果によるものなのか。
⇒来園者数は11月時点で123%も増加しており施設所管課としても驚いているところ。春の緊急事態宣言の時は平日も休日並みの利用があり、その際、はじめて利用した方が、こんな良い場所があるのかと気づき、利用者層の拡大に繋がったのかもしれない。

- ◇ 公園間で協力して事業をしているケースが、いくつかの府営公園間や、市所管の公園との間などで見られたが、そういった取組みはあまり評価軸に入っていないように感じる。地域との連携も含め評価できれば良いのではないかと。

⇒現在の評価は、事業計画通りに出来たかという点に主眼が置かれている。周辺施設と連携した地域の活性化なども公園の大切な役割であり、評価の視点に盛り込む必要があるかもしれない。

(財務状況について)

- ◇ 特に修正等なし。

(表彰の進め方について)

- ◇ 事前審査を行い、第3回委員会において本審査を行うことで了解。
アンケート項目でのみS評価となっている公園については表彰対象としては、取り上げにくいので、事務局で検討を。

(⇒庁内で改めて検討した結果、事前審査は行わない。)

(まとめ)

- ◇ 今回の委員会での意見を踏まえ事務局で評価票の内容を修正し、次回の委員会で確認し確定させる。

(その他) 府営公園の駐車場料金について

- ◇ 山田池公園の駐車場アンケートの結果のみで議論しているが、それだけで議論するのは危険ではないか。
- ◇ バスでないと来園できない交通が不便な公園では、車の利用が主になる。そのような公園では定額制の方が良いのでは。滞在時間にもよるが、結果的に定額制と同じ640円を払っても、時間制でだんだん上がるのは高いというイメージがある。
- ◇ 公共交通機関が充実している駅前等の公園は、電車で来園する公園として示し、駐車場の要否について議論するような事をして良いかもしれない。
- ◇ 駐車場料金を下げるにあたっては、公園周辺の駐車場に対して民業圧迫の観点からの検討も必要。指定管理者が、条例の範囲内で料金設定を工夫する程度なら特に問題ないと思う。4、5年とか10年ぐらいの単位で検討するような話かもしれない。また、受益者負担の考え方も考慮すべき。
- ◇ 公園一つ一つキャラクターが違う。公園の立地や駐車場の利用状況など、グルーピングして検討してはどうか。
- ◇ 来年度は、全ての公園でアンケートを取るなど、もう少しデータを整えた上で検討してはどうか。

以上